大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成３０年度　学校通信　平成３１年２月１４日　No.３２

一足早く「贈る言葉」

もう２月です。「２月は逃げるように、３月は去るように、過ぎていく」といわれ、時間の経過が早く感じられる時期です。３年生は希望進路実現に余念がありません。１・２年生はふるさと体験学習を重ね、地域活性化や伝統文化の継承を意識しています。大綱引きを題材に短歌を作る、ふるさとを想う生徒たちの取組に、テレビ局からの取材依頼もありました。

そのような中、心の教室ののり子先生から、生徒たちに一足早く「贈る言葉」が寄せられました。

「一生懸命な姿は美し」

「花」

花はなぜ美しいのか
ひとすじの気持ちで咲いているからだ」

「故郷」

心のくらい日に
ふるさとは祭りのようにあかるんで
おもわれる」

特に、「悩んだ時に、心のよりどころになる場所や人がいて、そこに戻れば元気になれるところがあれば」とあります。家庭はもちろんのこと、学校も西仙北中学校も皆さんのそんなよりどころでありたいものです。

綱よい・綱のばし、大綱案内人！

地域の伝統行事である「刈和野の大綱引き」に係る体験学習として、１・２年生は２月１日に、上町下町に分かれて「綱よい」を体験しました。

上町と下町では綱の作り方も違います。当日は、本校１・２年生と西仙北小学校５・６年生、西仙北高校２年生、そして、地域の方々総勢300名ほどが参加して、上町下町がそれぞれ心を一つにして綱をより合いました。なお、今年は中央公民館が改築のためになくなり、上町は寒風にさらされての作業になりました。

皆さんたいへんお疲れ様でした。

また、２月10日の本番前には、本校生徒は「綱のばし・小綱付け」も体験しました。地域の伝統行事や文化に対する理解を深めるとともに、地域貢献できる人材育成、ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに想う生徒の育成等をねらいにしています。

大綱保存会からは、中学生袢纏を今年度さらに６着いただき１・２年生全員が身に付けることができます。１・２年生は、本番当日、この袢纏に身を包み、伝統文化の後継者として、また、地域活性化に寄与する一人として参加しました。ありがとうございました。

平成30年度第2回生徒総会

２月４日立春の日、今年度２回目の生徒総会が行われました。生徒会執行部を引き継いだ２年生・１年生が本格的に全校をリードする総会でした。

小山田生徒会長の今後の生徒会運営の方針等を受け、各専門委員会の活動報告及び全校生徒との質疑応答がありました。よりよい学校生活の創造への建設的な意見交換がなされ、たのもしく思いました。また、会計の中間報告や「いじめＮＯプロジェクト」の宣言も改めてされました。「ラッキー７の西仙北中から末広がりの八年目に向けた」生徒会のスタートが切られました。

伝統や特色ある活動を引き継ぎながら、新年度の一層の飛躍を期する総会になりました。

（制服は西仙北中生の誇りとともに、朝の貴重な時間に、迷わずに着用して登校できるメリットも大きいかな！？）

前期選抜志願者　全員合格！

２月５日、公立高校の前期選抜の結果が発表になりました。本校志願者は見事全員合格しました。おめでとうございます。一般選抜の皆さんも続きましょう。「光輝学年」ファイト！

HUBスペース「大綱案内人」好評

２月10日、国の重要無形民俗文化財に指定されている「刈和野の大綱引き」が行われました。五百有余年の歴史をもつといわれる伝統行事ですが、今年も、本校生徒がふるさと学習として、綱よいから積極的に参加しました。

本番当日は、大綱引き保存会から贈られた「中学生袢纏」を１・２年生が身にまとい、建元の指示の下、綱のばし・小綱付けに挑戦しました。また、有志がＨＵＢスペースを拠点に、観光客等のおもてなしのボランティアを行いました。

これまで観光客には休憩所等がなく、少し不便を感じていたといわれますが、平成28年にＨＵＢスペースがオープンしてからは、地域との交流、大綱引きの時の休憩所等として活用され、そのときの中学生の対応が好評を博していました。

今回も多くの本校生徒が、「大綱案内人」として活動しました。美術科で制作した「和菓子」の作品の中から、和栄堂さんが商品化してくれました。３年生鈴木さんの「春ふふむ」を無料で提供して観光客の皆さんに味わっていただきました。また、大綱引きには、これまで目立ったお土産品がないということを踏まえ、昨年から生徒会で作製した「大綱缶バッチ」を販売していますが、今年も生徒がデザインした缶バッチと、これも以前に生徒がデザインした「どんど焼きのタオル」をお土産品として販売しました。

さらに、今年は、３年生の美術で，大仙市のお土産パッケージをデザインした中から、佐藤君の「いぶりがっこパッケージ」を商品化して販売しました。九角形でもちやすく、黒と金色のデザインで高級感をもたせ、いぶりがっこが直接見えずにおしゃれに持ち歩けることをねらいにしたそうです。

なお、売り上げの収益金は、これまで同様、大綱保存会に寄付し、保存会の活動に役立てていただくことにしています。今年も、大活躍の本校生徒たちで、地域貢献の一端を担えたのではないでしょうか。お疲れ様でした。

また、ＨＵＢスペースは、これまでの活動に一区切りを付ける意味で、今年度をもって閉じる予定としています。多くの皆様のこれまでのご支援に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

校内研究授業　技術科

前にもお伝えしたように，本校では指導主事の先生等をお招きした研究授業の他に、校内研究授業を行っております。２月６日には２年Ｃ組の皆さんと高田先生が、技術科の授業を行いました。

「プログラムによる計測・制御～センサーカーのプログラム～」の題材で、プログラムの機能や処理の手順についての学習でした。小学校の新学習指導要領では、プログラミング学習が新たに設けられ話題となっておりますが、その学習に通じる内容かと考えます。どの生徒も、コンピュータを用いて、目的に応じた計測・制御するためのプログラムの作成及び修正に挑戦していました。センサーカーによるプログラムの確認は、何度も修正を加えるなど、まさしく「わかる、できる」を実感する学習でもありました。このような基本的な考えを元に、創造性や独自性が育まれるのではないかとも考えました。